

【沖縄スマートシフトプロジェクト（沖縄県におけるMaaSの社会実装）】

様々な交通モードを実績のあるMaaSアプリ「my route」で繋げることやAIオンデマンド交通走行による二次交通へのアクセスを向上させることなどシームレスな移動の実現と交通分散を図り、地域課題を解決する。また非接触・キャッシュレス手続きなど感染症対策による利用者の安心感の醸成やモーダルシフト、E V利用などカーボンニュートラルの取組を行うことで持続可能なモデルを構築する。さらにデジタルの特性を活かし、得られた情報を交通事業および交通以外の事業の行動変容に活用すると共にタイムリー且つ効果的な情報発信をしていくことで周遊性の向上および地域経済の活性化を促進する。

| | | | |
|------------------|---|---|--|
| 協議会の構成員 | 沖縄スマートシフトコンソーシアム 【幹事】地域パートナー兼事務局：第一交通産業 自治体：本部町 エリアパートナー：沖縄第一交通グループ、沖縄トヨタグループ ソリューションパートナー：損害保険ジャパン、NTTドコモ九州支社 オブザーブ：沖縄県・沖縄総合事務局・那覇市・那覇市観光協会 | | 取組イメージ |
| 地域課題 | 〈交通〉慢性的な交通渋滞、公共交通機関への分散、カーボンニュートラル 〈観光〉感染症対策、国内外における観光客数の増大に対するサービス提供 〈観光客〉各交通モードの利便性向上やキャッシュレス決済の要望 〈地域住民〉レンタカーによる事故増大や観光公害（渋滞・ゴミ・違法駐車） | |  <p> 渋滞を回避した多様な移動手段の連携 ①船舶やバスによる渋滞回避(非接触・分散・時間創出) ②乗船乗車前後の二次交通の充実(タクシー、レンタカー、カーシェア等) </p> <p> アフターコロナを見据えた行動変容を促す仕掛けの展開 ①混雑率やニーズの高い情報、インセンティブの提供 ②UIを向上させ、すべての世代が利用しやすい仕組みを構築 </p> <p> その他、EVバスの導入などカーボンニュートラルに資する取組などにより差別化を行い、選ばれるサービスを展開している。 </p> |
| 事業概要 | 期間 | 2022年2月～2022年12月 ※まん延防止等重点措置により開始時期の変更 | 検証結果 |
| エリア | 那覇市・浦添市・本部町・豊見城市 (22年4月より名護市 他 予定) | | まん延防止等重点措置を考慮し、大々的なプロモーション等は行わず、事業を開始 ※22年4月以降にキャンペーン等で利用促進予定 <ul style="list-style-type: none"> ● サイトアクセス数(LP:https://www.okinawa-smashif.com/) 591人(2/17～3/17) ● 各モビリティ乗車率→3月より予約も含め、上昇傾向ではあるが、4月以降に別途対象期間を設定する。 ● デジタルチケット(バス2種類)販売:限定された地域での利用となっており、ロングトリップには現在使われていない模様。※紙券とは異なる傾向。バスだけでなくチケット種類を増やし、目標の7,000枚超を早期達成する。 ● その他項目におけるアンケート実施による満足度等調査についてはチケット販売と結びつくとともに、まだ販売枚数が少ないため、十分な量のお声を集めることができていない。 |
| MaaSシステム | MaaSアプリ「my route」※全国約28万DL達成 | | 今後の方向性 |
| 交通サービス | <ul style="list-style-type: none"> ● 路線・定期観光バス、船舶、タクシー、レンタカー、カーシェア、レンタサイクル等の複合経路検索機能の提供 ● タクシー・船舶・定期観光バス・オンデマンドの予約機能 ● 船舶や路線バスの運行情報・混雑率の表示 ● 路線バス等のデジタルチケットの予約決済機能 ● 沖縄県北部での乗合オンデマンド走行による二次交通の充実とアクセス向上 ● 駐車場事前予約決済機能 ● EVバス導入 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 自治体や観光協会、地場企業等との連携強化を行い、明確化した課題に対して基盤作りを行っている。シームレスな移動の実現のために交通結節点強化を優先事項として二次交通の連携を様々な形で行う。そして戻りつつある観光客および地域住民の移動を支える仕組みを構築する。 ● 行動変容を促す仕掛けをリアル・デジタルで行い、それぞれの地域でサービスの利用促進をする。 ● その他のPFとの相互連携やアプリのアップデートに合わせて、より利便性を向上させることで地域の要望や課題を解決する。 |
| 交通以外のサービス | <ul style="list-style-type: none"> ● イベントや観光情報の配信 ● マルシェ等イベントの開催 ● 飲食店や小売店、観光施設等のクーポン発行 ● 災害時の情報発信 | | |
| 検証内容 | <ul style="list-style-type: none"> ● 大動脈である国道58号線の渋滞解消と多様な交通モードへの分散 ● 各対象市町村が都市計画・観光で目指すものの一助をMaaSで提供 ● 利便性を向上させシームレスな移動の実現と時間創出による体験追加 ● 観光客の増大などポストコロナを見据えた移動手段の確立 ● モーダルシフトやEV利用によるCO2排出量の削減 ● 移動データ活用による地域経済の活性化 | | |